

お盆前に最盛期を迎える花ハス農家へ准組合員と高校生が労力支援 援農ボランティアに佐屋高校の生徒が初参加！

JAあいち海部では、花ハス農家への援農ボランティアを8月上旬の最需要期に向けて開催します。この取り組みは、当JAの准組合員に農家や農業のためになる活動へ参加してもらい、労力支援と地域農業の振興を目指しています。今年度は、初めて佐屋高校の生徒にもボランティアに参加してもらい、農業体験を通じて地域農業への理解を深めてもらいます。

募集方法は、援農ボランティア専用のLINEへ登録することで、農家から人手が必要な時にLINEの通知機能を利用し、農家や利用者がお互いの都合に合わせて、気軽に利用できるようになっています。

今回の募集は、7月26日から8月9日まで花ハスの収穫作業と選別や梱包などの出荷作業を行います。参加者は、生産者の圃場や当JAの北部集出荷施設で作業に取り組みます。高校生の参加は8月4日6日9日で、出荷作業のみとなります。

愛西市で栽培されている花ハスは、関西地方でお盆に飾る仏花として親しまれており、食用の品種より小ぶりで花立ちが良いのが特徴です。

↑ 援農ボランティア募集のポスター
↓ 昨年の収穫作業の様子



昨年の出荷作業の様子



昨年の出荷作業の様子

令和8年6月15日
報道関係者各位



出荷作業の様子



収穫作業の様子



援農ボランティア概況

組合員農家の労力軽減と准組合員の地域農業への理解促進を目的に行います。この取り組みは、当JAの特産のイチゴと花ハスで行っています。

イチゴは収穫作業と株切り作業、花ハスは収穫作業と出荷作業に取り組み、農家の方が人手を必要とする際に地域の消費者である准組合員が農家の理解を深めるためお手伝いをします。

JA あいち海部の花ハスについて

組 合：JAあいち海部早尾紅蓮組合
組 合 長：三輪 昇（みわ のぼる）さん
栽培地域：愛西市
栽培面積：590アール
栽培戸数：11戸
収穫時期：7月末から8月初旬
品 種：茶碗バス
収 穫 量：約16万本

愛知県立佐屋高校

所 在 地：愛知県愛西市東篠町高田39
課 程：全日制・昼間定時制・通信制
学 科：生物生産科
園芸科学科
生活文化科
ライフコーディネート科
校 訓：学べ、鍛えよ、清らかに

【メディア対応日】

開催日：令和7年 **7月26日（日）30日（木）8月2日（日）** 准組合員のみ参加日
8月4日（火）6日（木）9日（日） 佐屋高校の生徒と准組合員の参加日

場 所：JAあいち海部 れんこんセンター（愛知県愛西市早尾町晩稻場36-1）

時 間：【収穫作業】午前5時～

【出荷作業】午前8時～（3時間程度を予定）

※取材にお越しいただける際には、日程調整しますので事前にご一報ください。

※収穫作業についてはレンコンセンター集合後、生産者の圃場へご案内いたします。

内 容：生産者の圃場での収穫風景や出荷風景の撮影など

【お問い合わせ先】

JAあいち海部企画部企画課（広報担当：中村）

TEL：0567-28-6760 FAX：0567-28-6655

公式HP

